



NPO法人 日本ハラール協会  
NPO Japan Halal Association

1

## 食品・化粧品包装資材における ハラール性担保の問題点

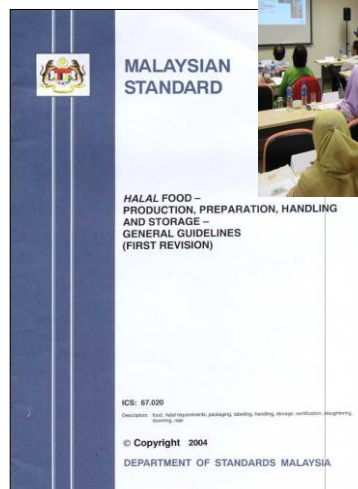
NPO法人 日本ハラール協会  
技術監査人 伊藤 健

©NPO Japan Halal Association All rights reserved

## マレーシアのハラール基準

2

- 政府機関がハラールスタンダードを確立。  
(Development of standard Malaysia)
- ハラール認証を促進。  
(JAKIM)
- ハラール教育を国内で実施、海外でも自国の認証やハラールの浸透を計って実施している。  
(HDC)
- 自国のハラール製品を海外へ輸出斡旋。  
(MATRADE)



©NPO Japan Halal Association All rights reserved

### 3.7 要求事項：包装、ラベル表示 および広告

#### 3.7.1 ハラル食品は適切に包装する。

包装材は事実上ハラルのものとし、次の要件を満たすものとする。

- a. 包装材は、シャリーア法でナジスと定められた原料でできていない事。
- b. シャリーア法でナジスと定められたものに汚染された機器を使用して準備、加工または製造されていない事。

### 3.7 要求事項：包装、ラベル表示 および広告

- c. 準備、加工、貯蔵または輸送に際しては、上記a.もしくはb.で定める要件を満たしていない他の食品、またはシャリーア法でナジスであると定められている他のものから物理的に隔離する事。
- d. 包装材はハラル食品に毒作用を及ぼすものでない事。
- e. 包装のデザイン、サイン、シンボル、ロゴ、名称、画像は誤解を与えるようなものではなく、また、シャリーア法の原則に違反するようなものでない事。

## ハラールとハラーム

## ハラール・ハラームの意味

- ハラールであるか、ハラームであるかを決めるのはアッラーのみである。
- ハラールであるものは清浄、安全であること、人の普通の理解で良いものはハラールで、逆がハラーム。
- 賭博、高利貸し、利子、婚前交渉、ゲイ、姦通、男性が女性の格好をする事やその逆、男性がシルクや金を身につける事、等もハラーム。
- ハラームなものをハラールと偽造する行為はハラーム。
- ハラームな行為をする人はハラームであるが、それらを助成する事もハラーム。
- ハラールかハラームか不明なものは避けるべき。

## ハラールとハラームの原則

はじめに

ハラール（許されたもの）は明らかであり

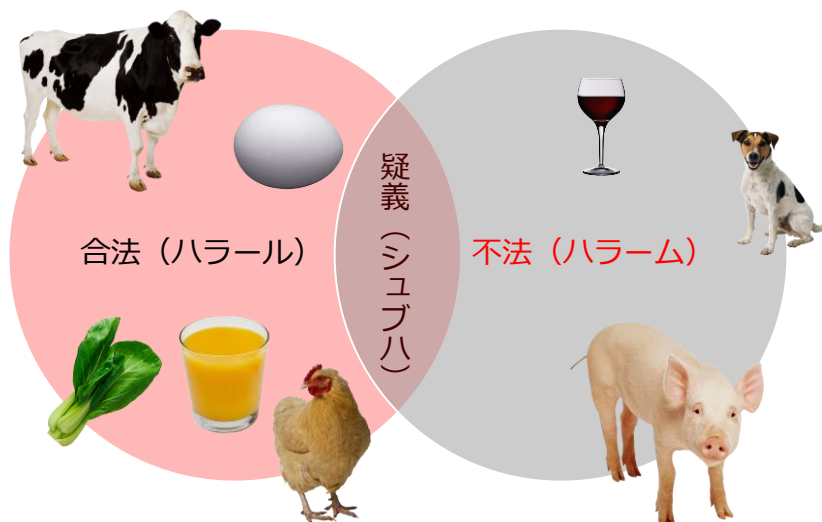
**ハラーム**（許されないもの）は明らかである

そして、それら2つの間にはシュブハである  
（疑わしい）ものがある

（預言者ムハンマドの言行録・ハディース）



ハラーム・けがれの範囲



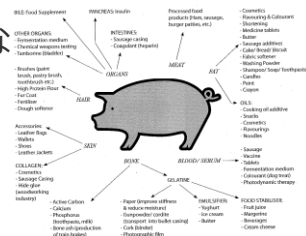
# ハラールな食品



- ハラールに、と畜された動物
- 野菜、果物
- 穀類
- 海生生物（一部のマズハブ除く）
- 乳製品、卵
- 水
- 米 等

# ハラームな食品

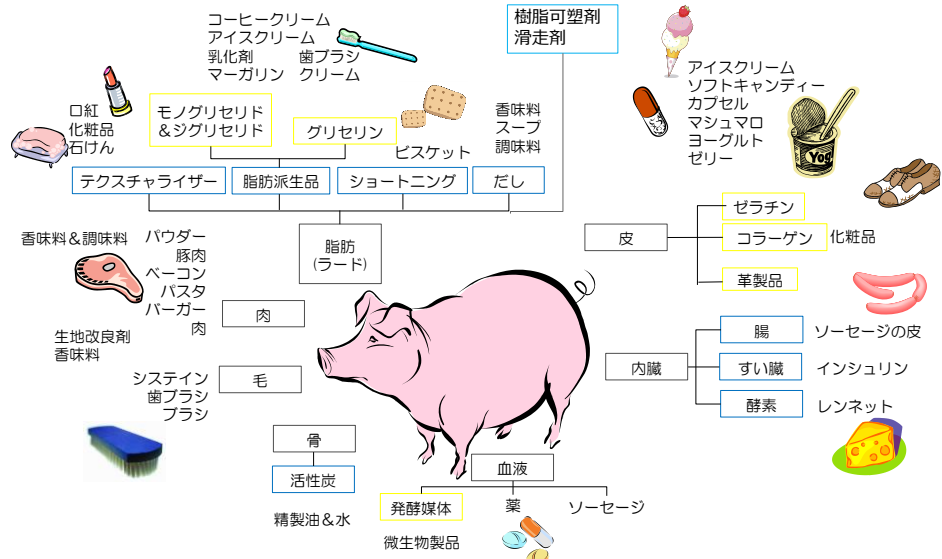
- ハラールに、と畜されていない動物。
- ナジスを含んだもの。
- 毒物、健康に害のあるもの、泥酔性のあるもの。
- ナジスに触れた器具を使用して製造されたもの。
- 人体的なものが含まれたもの。
- 全ての製造工程においてハラームなものから分離されていないもの。



# 不浄物質

- 犬
- 豚
- 酒
- ハラルと畜でない動物
- 人体由来

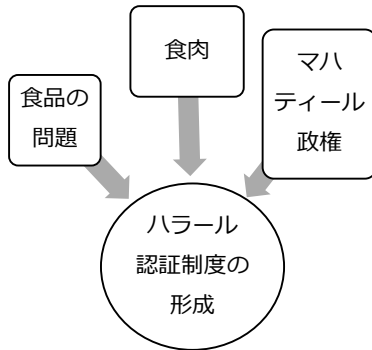
## ■ 豚及び豚派生品



## ハラール認証制度

## 食肉を輸入することから始まった認証制度

## 認証制度の形成過程



- 1982年 輸入肉の規制
- 1994年 ハラールロゴの 導入
- 2004年 ハラール認証制度 MS1500:2004を発行
- 2009年 MS1500:2009を発行

## マレーシアについて

- 人口：2995万人（2013年マレーシア統計局）
- 民族：マレー系(67%)、 中国系(25%)、インド系(7%)
- 宗教：イスラーム教（連邦の宗教）、仏教、キリスト教、ヒンドゥー教など



首都クアラルンプールの街並み





○  
1970年代

ネスレ（加工食品）KFC など近代的な食が流入



○ 1980年代

ハラールに関する規制が開始（輸入肉、加工食品）



○ 1990-2000年代

ハラール食品市場、認証制度が急速な発展を遂げる

## ハラール認証制度の発展過程（1980-2000年代）

- 1980年から2000年代にかけて、多品目、**多分野に認証の範囲が拡大**

→生産から小売りまで全ての段階をハラールにする

- 多品目・多分野への拡大**

→食品だけでなく、化粧品、医薬品にまで認証の範囲が拡大



# ハラール認証の有効性

19

## ハラール加工食品の識別容易性

- ハラール：コンセプトは単純だが、産業は複雑化
- ハラール加工食品：ムスリムにとって識別困難
- ハラール加工食品識別：認証マークによる容易化

## ムスリムにとっての食の安心・安全の確保

- 消費者保護：流通、販売時の虚偽情報回避
- グローバル：取引容易化
- ハラール加工食品：識別容易化、信頼性向上

©NPO Japan Halal Association All rights reserved

20

# 包装資材におけるハラール性の問題点

©NPO Japan Halal Association All rights reserved

## 樹脂に関するハラール性問題点

食品用包装資材の添加剤にハラール性問題点がある。

①樹脂原料（PP,PE）：添加剤：豚および無認証動物油脂添加

例：脂肪酸アמיד（脂肪酸アミド）

ステアリン酸アמיד（動物由来×、植物由来○）

オレフィン酸アמיד（動物由来×、植物由来○）

エルカ酸アמיד（植物由来○）菜種

パルミチン酸アמיד（動物由来×、植物由来○）

ラウリル酸アמיד（植物由来○）パーム

②製造装置：無認証動物油脂添加装置兼用

## 包装資材に関する問題点

食品用包装資材の添加剤にハラール性問題点がある。

①フィルター：樹脂原料：ハラール性保証できない。

②包装材：樹脂原料：ハラール性保証できない。

## 国内外の包装資材のハラール 性担保状況

### 加工紙

- パラフィン紙
- ターポリン紙
- アスファルト紙

## 牛乳用容器

### ■ガラス瓶

【注意】 ポリエチレン製品

ポリエチレン加工紙製品

ポリエチレンに含まれている添加剤

- ①酸化防止剤：140℃～190℃加熱溶融時の酸化防止
- ②滑剤：フィルムのスリップ性付与
- ③アンチブロッキング剤：開封の容易性

## セロハン

■防湿剤（PVC、酢酸ビニル、PVDC）

■複合フィルム

【注意】 PE,PP

## 金属製品

- 金属缶：内面塗料（PVC,酢酸ビニル,エポキシ樹脂）

## ゴム製品 植物由来が従来多い。

- 天然ゴム：cis – ポリイソプレン
- ブタジエンゴム：合成ゴム
- イソブレンゴム：原料：オーク、ポプリ、ユーカリ
- スチレンブタジエンゴム：合成ゴム
- アクリトニトリルブタジエンゴム
- クロロブレンゴム
- ブチルゴム
- エチレプロピレンゴム
- クロルスルホン化ポリエチレン
- シリコーンゴム

## ゴム製品

補強剤充填剤

- 有機

【注意】 PE

- 無機

【注意】 炭酸Ca

## ゴム製品

- 哺乳用乳首

- 一般向けゴム

## ガラス製品

### ■ガラス瓶

主原料：ケイ砂、ソーダ灰、石灰石

※ 上記原料に認証品も存在する。

## 陶磁器

### ■土器（粘土）

### ■磁器（粘土）

【注意】 骨灰



## ホウロウ引き製品

- 金属素地に釉薬塗布後、焼成

## 合成樹脂

- スチレン系樹脂
  - ポリ塩化ビニル
  - ポリ塩化ビニリデン
  - ナイロン
  - メタクリル樹脂
  - ポリカーボネート
- 【注意】ポリオレフィン

## 合成樹脂：熱硬化性樹脂

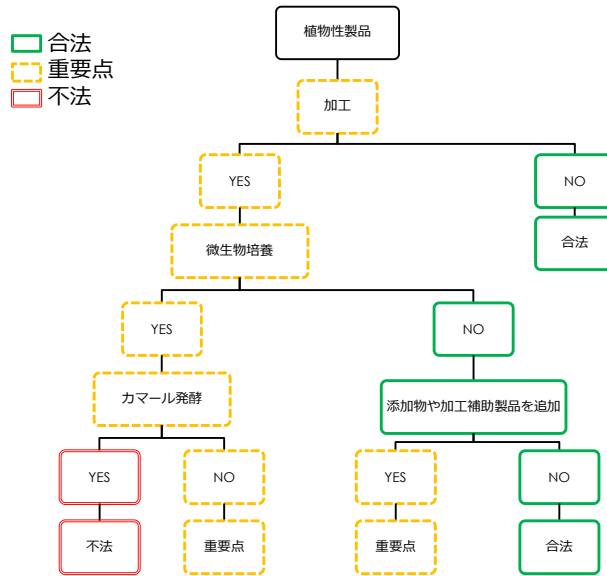
- フェノール樹脂
- 尿素樹脂
- メラミン樹脂
- 不飽和ポリエステル樹脂
- エポキシ樹脂
- ポリウレタン樹脂
- ジアリルフタレート樹脂

## その他

- ポリビニルアルコール
- ポリフェニレンエーテル
- ポリアセタール
- ポリテトラフルオロエチレン
- ポリアクリロニトリル：アクリル繊維
- ポリアリルスルホン
- ポリアリレート

## 植物性製品に関する重要点の特定

37

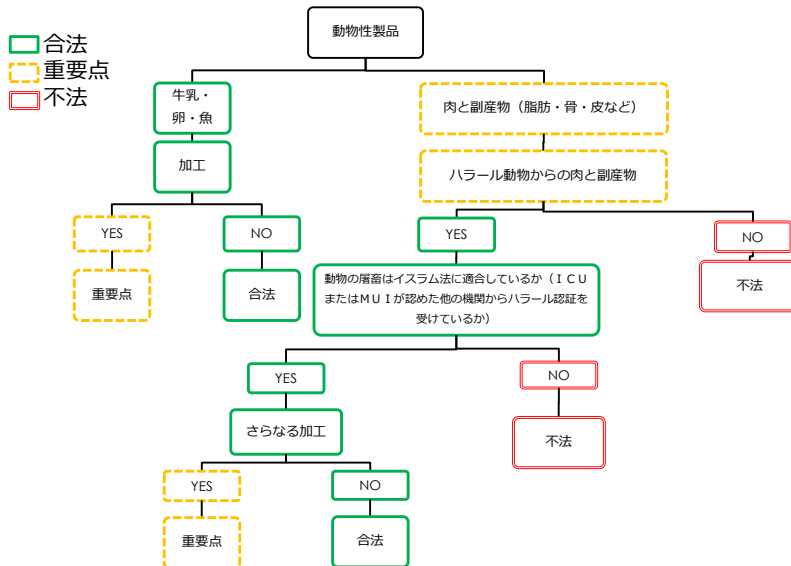


©NPO Japan Halal Association All rights reserved

Indonesia Halal Directory 2012-2013

## 動物性製品に関する重要点の特定

38



©NPO Japan Halal Association All rights reserved

Indonesia Halal Directory 2012-2013



NPO法人日本ハラール協会  
NPO Japan Halal Association

ご清聴ありがとうございました